



## 日本人学校教育課程等実施状況調査（特別支援教育関係）結果報告（2）

国立特別支援教育総合研究所では、海外にお住まいの特別な教育的ニーズのあるお子さん、保護者の方、先生方への相談・支援を行っております。「特総研だより」では、年3回のお便りを通じて、文部科学省総合教育政策局国際教育課と5月に共同で調査した「教育課程等実施状況調査（特別支援教育関係）」の結果をご報告します。第2号では、特別な支援を必要とする児童生徒の指導体制・支援体制の整備状況について報告します。

なお、「特別な支援を必要とする児童生徒」は、障害の診断のある児童生徒、障害の診断はないが特別な配慮を必要とする児童生徒を示しています。

### 1. 校内支援体制の状況

校内支援体制の状況の設問について日本人学校94校中76校から回答がありました。「校内委員会の設置」、「コーディネーターの指名」、「実態把握の実施」、「個別の指導計画の作成」、「研修の実施」について、多くの日本人学校で、校内支援体制の整備がされている状況が明らかになりました。一方で、専門機関への相談や支援員等の活用は、3割ほどに留まっている状況が明らかになりました。（図1）

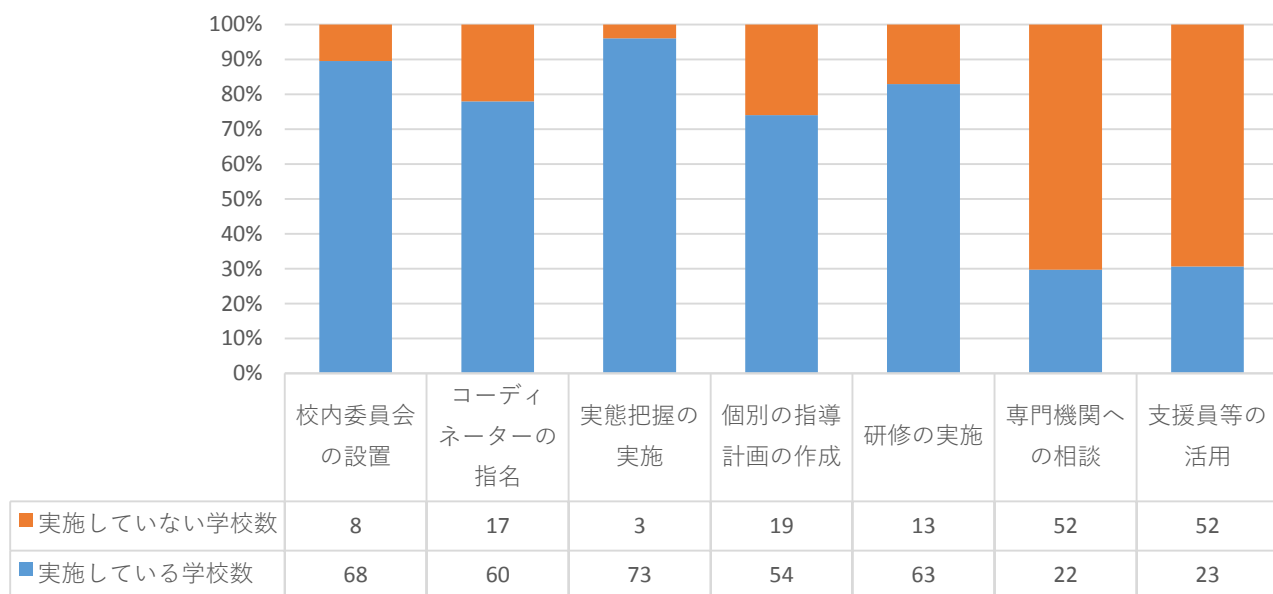


図1 校内支援体制の状況

## 2. 指導体制や校内支援体制の自己評価

特別な支援を必要とする児童生徒を指導・支援するための指導体制や校内支援体制の整備状況について自己評価してもらったところ、「十分に整っている」と「わりと整っている」で4割ありましたが、「あまり整っていない」「ほとんど／全く整っていない」で4割強となっており、指導体制や校内支援体制が整っていないと感じている日本人学校がかなり多いことが明確になりました。（図2）

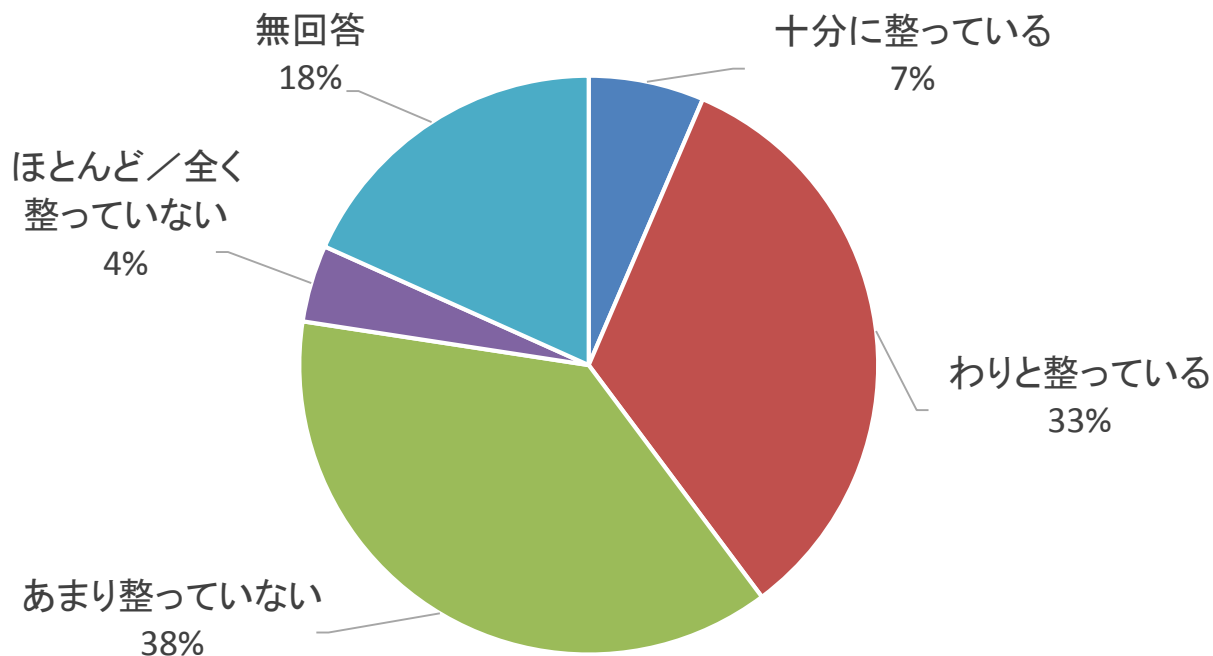


図2 指導体制や校内支援体制の自己評価

### 指導体制・支援体制の整備状況についてのまとめ

特別な配慮を必要とする児童生徒の指導体制・校内支援体制の整備状況について、整備されていない日本人学校もあることが分かりました。また、国内の状況とは異なり、外部の専門機関に相談したり、支援員等の活用が難しい状況があることが分かりました。こうした状況への対応は、日本人学校における課題であると考えられます。

また、特別な配慮を必要とする児童生徒の指導体制・支援体制の整備状況についての自己評価を尋ねたところ、約4割強が「整っていない」との回答がありました。特別な配慮を必要とする児童生徒を指導・支援するための指導体制や校内支援体制のより一層の整備が課題であると考えられます。

### 3. 特別支援学級・通級指導教室の設置状況、個別の配慮や支援と個別指導の状況

2022年度は、特別支援学級・通級指導教室（以下、「特学」・「通級」とする）の設置状況は、以下に示したとおりです。また、「通常の学級の授業時間内に個別の配慮や支援をしている」と答えた日本人学校は、59校あり、そのうち「通常の学級の授業時間外に個別指導をしている」と回答した日本人学校は、20校ありました。特学、通級が設置されていない日本人学校においても、「通常の学級の授業時間内に個別の配慮や支援をしている」学校が多いこと、その中には、「通常の学級の授業時間外に個別指導をしている」学校もあることが明らかとなりました。

#### 特学・通級の設置状況

##### 特学・通級とも設置している学校 (9校)

- ・ ニューデリー日本人学校
- ・ シンガポール日本人学校  
クレメンティ校
- ・ シンガポール日本人学校  
チャンギ校
- ・ バンコク日本人学校
- ・ 上海日本人学校虹橋校
- ・ 台中日本人学校
- ・ クアラルンプール日本人学校
- ・ ニューヨーク日本人学校
- ・ 日本メキシコ学院日本コース

##### 特学のみ設置している学校 (1校)

- ・ 台北日本人学校

##### 通級のみ設置している学校 (9校)

- ・ マニラ日本人学校
- ・ ジャカルタ日本人学校
- ・ ジャカルタ日本人学校  
チカラン校
- ・ シラチャ日本人学校
- ・ 香港日本人学校香港校
- ・ イスラマバード日本人学校
- ・ シドニー日本人国際学校
- ・ ミュンヘン日本人国際学校
- ・ パリ日本人学校

## おわりに

特総研では、障害のあるお子さんや学級の中で気になるお子さんへの指導・支援について日本人学校の先生方からのご相談をお受けしております。また、日本人学校等を通じ、障害のあるお子さんへの関わり方等について保護者の方からのご相談もお受けしています。

教育相談はメールにて応じております。お問い合わせは下記メールアドレスへお願い致します。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
情報・支援部 学校教育支援・連携 担当  
連絡先 : wsodan2@nise.go.jp